

使用済燃料の貯蔵施設計画にストップをかけて、女川原発そのものも運転停止に！

# 女川を「核のゴミ捨て場」にするな！

政府と電力会社は、原発の運転で発生する使用済燃料は「リサイクルする、敷地には残さない」と、約束していました。しかしリサイクル（再処理）がゆきづまり、東北電力は女川原発敷地内に使用済燃料の貯蔵施設をつくる計画を申請しました。「一時保管」という説明はゴマカシで、保管期間を明示せず、住民説明会も拒否しています。考えられる搬出先は最終処分場ですが、設置のメドはなく、女川が事実上の最終処分場にされかねません。

女川町長および石巻市長・宮城県知事に対して、計画に同意しないよう求める新しい署名運動を大きく広げましょう！

使用済燃料プールは2028年秋頃に満杯になります。貯蔵施設にストップをかければ、新しい使用済燃料を発生させることができなくなり、その時点で女川原発はもう運転できなくなります。



女川原発ゲート前で再稼働に抗議（2024年10月29日）

## 新署名を推進する学習講演会

【募金のお願い】

講演会開催や署名用紙・チラシ作成に計約20万円が必要です。振込先…ゆうちょ銀行 店番818 普通預金口座 番号 3169569 名義=原発問題住民運動宮城県連絡センター

【講演】使用済燃料はリサイクルしない、させない  
—プルサーマルは、やってはいけない愚かな政策—  
岩井 孝さん（日本科学者会議原子力問題研究  
委員会委員、核燃料の研究者）

【講演】中間貯蔵施設と「核ゴミ問題」を考える  
—青森県の運動から見たもの—  
奥村 榮さん（核燃料サイクル施設立地反対連絡  
会議共同代表、青森県労連議長）

日時：2月2日（日）13時30分～16時  
会場：女川町・まちなか交流館 大ホール



ZOOMで同時配信します、事前登録は不要です

<https://us02web.zoom.us/j/88431256497?pwd=NFSGw4zbLWEBKhd6GDqIV3pJcmIypf.1>  
ミーティング ID: 884 3125 6497 パスコード: 465501

原発問題住民運動宮城県連絡センター  
News 発行2025年1月1日  
連絡先：宮城民医連 電話 022(352)3277